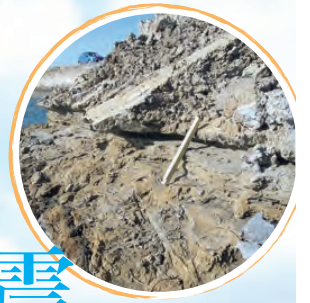


古地震・古津波から想定する 南海トラフの巨大地震



2013年

7月10日(水) 13:00~18:00 (受付開始 12:30~)

秋葉原ダイビル コンベンションホール

定員：300名 CPD(土質・地質技術者の生涯学習ネット)：5単位
主催：産業技術総合研究所 地質調査総合センター

入場
無料

歴史・地形・地質などから得られている過去の地震・津波の情報を整理し、震源モデルや地震サイクルシミュレーションも考慮しつつ、南海トラフの巨大地震想定現状と今後の課題を議論する。

プログラム

- | | |
|--|--|
| 13:00 シンポジウムの趣旨説明
佃 栄吉 (理事 地質分野研究統括) | 15:00 休憩・ポスターコアタイム (12件) |
| 13:10 新しい南海トラフの地震活動の長期評価について
吉田康宏 (文部科学省 地震・防災研究課) | 15:30 1707年宝永地震による浜名湖北部の沈降と大坂の被害数
矢田俊文 (新潟大学 人文学部) |
| 13:40 地形・地質記録から見た南海トラフの巨大地震・津波 (東海地域の例)
藤原 治 (活断層・地震研究センター) | 16:00 南海トラフ三連動型地震 M9はあり得るか?
瀬野徹三 (東京大学 地震研究所) |
| 14:05 地形・地質記録から見た南海トラフの巨大地震・津波 (南海地域の例)
宍倉正展 (活断層・地震研究センター) | 16:30 現代地震発生物理学に基づく海溝型古地震研究の新展開
安藤亮輔 (活断層・地震研究センター) |
| 14:30 地震考古学から見た南海トラフの巨大地震
寒川 旭 (活断層・地震研究センター) | 17:00 まとめ 総合討論
岡村行信 (活断層・地震研究センター長) |

参加お申込み

地質調査総合センターのウェブサイトよりお申込み下さい。
<http://www.gsj.jp/researches/gsj-symposium/sympo21/index.html>

お問い合わせ

地質調査総合センターシンポジウム事務局
gsjsympo21-ml@aist.go.jp TEL : 029-861-3687